

いちい蓬萊店に太陽光発電

福島で竣工式 停電時の営業可能に



いちい蓬萊店の屋根に設置された太陽光パネル

十五話を発電する。同店舗の約二割の電力を補える。災害などによる停電時にも営業が可能となる。

竣工式でいちいの伊藤信弘社長、太陽光発電システムを手掛けるソーラーポスト（福島

市）の尾形芳孝社長らがテープカットした。

伊藤社長は「東日本大震災後、停電で店を営業できなかった経験から太陽光発電システムを導入した。他の店舗でも整備を進めていきたい」と話した。

スーパーなどを展開するいちい（本社・福島市）は福島市のいちい蓬萊店に「自家消費太陽光発電システム」を整備した。竣工（しゅんこう）式は九日、同店で行われた。

民間企業の再生可能エネルギー導入を支援する県の補助金を活用した。店舗の屋根に六百七十二枚の太陽光パネルを敷き、一般家庭約五十世帯の一日の消費電力に当たる約二百